



平成 16 年 8 月 31 日

各 位

会社名 三菱瓦斯化学株式会社
 代表者名 取締役社長 小高英紀
 (コード番号 4182 東・大・名証第一部)
 問合せ先 広報IR部長 佐藤康弘
 TEL (03)3283-5041

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 5 月 14 日(平成 16 年 3 月期決算発表時)に公表した業績予想について、下記の通り修正します。

記

1. 平成 17 年 3 月期 連結中間業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成16年 5月 14日 発表)	178,000	7,500	10,000	7,500
今回修正予想(B)	190,000	11,500	14,500	10,000
増減額(B-A)	12,000	4,000	4,500	2,500
増減率	6.7	53.3	45.0	33.3
前期(平成16年3月中間期)実績	164,371	4,474	8,414	5,952

参考:持分法投資利益 5,300 百万円(期首予想 4,500 百万円)

2. 平成 17 年 3 月期 単独中間業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成16年 5月 14日 発表)	125,000	3,000	3,000	2,500
今回修正予想(B)	134,000	5,500	5,800	4,000
増減額(B-A)	9,000	2,500	2,800	1,500
増減率	7.2	83.3	93.3	60.0
前期(平成16年3月中間期)実績	115,522	271	366	277

3. 修正の理由

当中間期は石化原料価格や購入メタノール価格の上昇がありましたが、第2四半期も引続き堅調に推移する見込みです。

化学品は、メタノール系製品の需要が国内外とも伸長したこと、キシレン系製品の製品価格が高値で推移したことなどから増収増益となる見込みです。

機能製品も、エンジニアリングプラスチックは需要が引続き堅調に推移する見通しであり、電子材料系製品は市況回復と生産拠点の集中による効率化などにより増収増益となる見込みです。

持分法投資利益は海外メタノール会社をはじめ各社とも堅調に推移して、期初予想を上回る見込みです。

当中間期の業績は、景気回復による需要拡大と永年取組んできた諸合理化策の成果もあって上記の通り期初予想を上回る見込みです。尚、平成 17 年3月期通期の業績予想につきましては、原料価格や為替変動など不透明な要素が多いことから、今後の状況を見極めた上で、中間決算時に見直しを行なう予定です。

以上

【注記事項】

上記の業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は見通しと異なることがあります。